

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2303150	博物館経営論 Management of Museum	木田 歩	専門	2	選択	3年 後期
<b>科目の概要</b>						
博物館見学や博物館の実践例を参考にしながら、博物館の運営管理について理解し、博物館経営に関する基礎的能力を身に付ける。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
①様々な実践例から、博物館の経営基盤に関する基礎を理解する。			①形態的・活動的視点から、博物館の経営基盤について説明することができる。			
②使命や事業計画、評価等の観点から、博物館の経営について学ぶ。			②博物館の運営管理における経営的理解の必要性を述べることができる。			
③グループで、地域の博物館を調べ、博物館経営の現状について考察する。			③地域の博物館経営の現状について、協力しながら示すことができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	講義や博物館見学、成果発表を通じて、これからの博物館における経営的課題を自ら見出すことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	学芸員資格取得の目標を具体化しながら、課題を粘り強くやり遂げることができる。				
考え抜く力	課題発見力	観察事例をもとに情報を整理し、課題を見つけることができる。				
	計画力					
	創造力	博物館見学において、様々な利用者の状況を考慮しながら、経営の可能性を考えることができる。				
チームで働く力	発信力	成果発表や課題レポートにて、整理した内容を的確に伝えることができる。				
	傾聴力	グループワークで、メンバーの意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	博物館見学やグループワークにおいて、自分の都合を優先することなく、適切に行動することができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト: 使用しない。 参考文献: 必要に応じて、講義内で紹介する。 入館料: 博物館見学の際、必要な場合あり。						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
関連する資格: 博物館学芸員						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
博物館法は、博物館学芸員資格を取得する上で、とても大切なルールです。文化庁 Web サイト内「博物館の振興」のページから、「博物館関係法令」を検索・熟読し、授業に参加してください。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日欠席により課題提出が遅れる場合は、事前に受け付けます。</li> <li>・学外での博物館見学授業を開講するため、欠席・遅刻・途中退出の理由が事前にある場合は、報告してください。</li> </ul>			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	40	① ✓ ② ✓ ③ ✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館見学に関するショートレポート(15点)。2つの博物館の経営基盤を比較しながら分析できていることを評価する。</li> <li>・科目全体に関する課題レポート(25点)。科目全体を総括し、受講生自身の見解が適切にまとめられていることを評価する。</li> </ul>
成果発表 (口頭・実技)	40	① ✓ ② ③ ✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館見学に関する成果発表(15点)。各博物館の具体的な実践事例をもとに、受講生自身の見識を述べていることを評価する。</li> <li>・グループワークにて、地域の博物館の経営的現状を考察した成果発表(25点)。課題を分析するポイントが明確に共有・構築できているかを重視する。</li> </ul>
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ✓ ② ✓ ③ ✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講態度(欠席、遅刻、学修意欲欠如)が見られる場合は、欠席は2点、遅刻・学修意欲欠如は1点を減点とする。</li> <li>(主体性)</li> <li>・これからの博物館を担うという課題意識を持って、授業に臨むことができる。</li> <li>(実行力)</li> <li>・資格取得という目標を立てた上で、レポートや成果発表等課題に取り組むことができる。</li> <li>(課題発見力)</li> <li>・博物館見学に基づきながら、博物館の経営的課題を見出すことができる。</li> <li>(創造力)</li> <li>・博物館見学を通じて、利用状況を整理することで、博物館における経営的視点の重要性を考えることができる。</li> <li>(発信力)</li> <li>・成果発表やレポートにて、情報を的確にまとめ、具体的に提示することができる。</li> <li>(傾聴力)</li> <li>・協調性をもってグループワークに参画することができる。</li> <li>(規律性)</li> <li>・学外での施設見学も含め、全授業を通して、支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進むようにルールを守ることができる。</li> </ul>
その他	10	① ✓ ② ✓ ③ ✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2/3以上の授業に出席し、レポート提出・成果発表を行った学生のみ評価の対象とする。ただし、授業の出席は前提条件のため、出席点は加味しない。</li> </ul>
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>最終課題レポートにおいて、博物館経営の現状に関する見解をもとに、今後取り組むべき経営上の課題について、意見を述べるができることをA(優)の目安とする。</p> <p>さらに、自分自身の関心や目標と関連づけながら示すことができることをS(秀)の目安とする。</p>	<p>最終課題レポートにおいて、博物館における経営の現状や問題点について、的確に説明することができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	シラバス等をもとに、博物館学芸員資格科目としての概要を理解する。	各受講生へ質問しながら、資格取得の意思を確認する。	取得希望資格と本科目の関連性を理解することができる。	(予習)これまで利用してきた博物館の運営主体について、調べておく。	60	主体性
2週 /	博物館の運営管理のあり方を学ぶ。	海外の博物館のドキュメンタリーを視聴する。	経営的視点から博物館活動を理解することができる。	(復習)海外の事例を参考に、博物館経営に関する疑問点を整理しておく。	60	主体性
3週 /	博物館見学の準備を行う。	前週のフィードバック後、インターネットを利用し、見学施設情報を収集する。成果発表課題出題。	見学施設の経営的な概要を理解することができる。	(復習)見学先の活動情報を確認しておく。	120	主体性
4週 /	博物館見学を通して、運営管理のあり方を知る (博物館見学①-1) *週末開講予定(1 博物館を 2 限分にて開講)。入館料が必要な場合あり。	見学授業(可能な限り、学芸員の話聴く。)	具体的な経営基盤を経験的に知ることができる。	(復習)成果発表に活用するため、見学内容をまとめておく。	60	課題発見力 創造力 規律性
5週 /	博物館見学を通して、運営管理のあり方を知る (博物館見学①-2) *週末開講予定(1 博物館を 2 限分にて開講)。入館料が必要な場合あり。	見学授業(可能な限り、学芸員の話聴く。)	具体的な経営基盤を経験的に知ることができる。	(復習)成果発表に活用するため、見学内容をまとめておく。	60	課題発見力 創造力 規律性
6週 /	博物館見学を通して、運営管理のあり方を知る (博物館見学②-1) *週末開講予定(1 博物館を 2 限分にて開講)。入館料が必要な場合あり。	見学授業(可能な限り、学芸員の話聴く。)	具体的な経営基盤を経験的に知ることができる。	(復習)成果発表に活用するため、見学内容をまとめておく。	60	課題発見力 創造力 規律性
7週 /	博物館見学を通して、運営管理のあり方を知る (博物館見学②-2) *週末開講予定(1 博物館を 2 限分にて開講)。入館料が必要な場合あり。	見学授業(可能な限り、学芸員の話聴く。) 成果発表準備	具体的な経営基盤を経験的に知り、その内容を成果発表とレポートにまとめることができる。	(復習)見学内容と課題を照合せながら、成果発表に向けて準備をする。	300	課題発見力 創造力 規律性
8週 /	博物館の運営管理のあり方を知る。	見学内容をまとめ、各自発表する。	博物館の運営管理における経営的理解の必要性を理解することができる。	(復習)他の受講生の発表内容と比較しながら、運営管理のあり方をまとめる。	60	実行力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	使命や事業計画、評価の観点から、博物館の経営について学ぶ	見学先の博物館も参考にしながら、具体的な事例を紹介する。	博物館経営の形態的側面を理解することができる。	(復習)博物館における使命や計画の重要性について、確認しておく。	60	主体性
10週 /	他機関や民間事業者、地域社会等との連携のあり方について学ぶ	見学先や県内の博物館を事例に、博物館における連携事例を紹介する。	博物館経営を活動面から理解することができる。	(予習)次週からのグループワークに備え、身近な博物館を調べておく。	60	主体性
11週 /	グループで地域の博物館を調べ、博物館経営の現状について考察する①	グループワーク課題提示 グループでの意見交換	メンバーとともに、地域の博物館について、調査することができる。	(予習)候補となった各博物館について、経営方針を確認しておく。	120	課題発見力 傾聴力 規律性
12週 /	グループで地域の博物館を調べ、博物館経営の現状について考察する②	グループ調査 グループ討議	意見交換しながら、関心を共有した博物館を選ぶことができる。	(予習)選んだ博物館について、詳細情報を収集する。	120	創造力 傾聴力 規律性
13週 /	グループで地域の博物館を調べ、博物館経営の現状について考察する③	グループでの発表 準備作業	メンバーで協力しながら、パワーポイント等を利用し、発表内容をまとめることができる。	(予習)次週の成果発表にむけて準備をおこなう。	300	実行力 創造力 規律性
14週 /	グループで地域の博物館を調べ、博物館経営の現状について考察する④	グループ発表	地域の博物館の経営的現状について、協力しながら発表することができる。	(復習)他のグループの発表の感想をまとめておく。	60	実行力 発信力 傾聴力
15週 /	これまでの授業を振り返りながら、科目全体のまとめを行う。	最終レポートの課題解説の上、グループ発表と全講義を振り返る。	博物館の経営基盤を説明することができる。	(復習)課題内容を照合しながら、レポートを作成する。	300	主体性 実行力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力